

## 2005年9月 先月の重大ニュース

### 郵政法案否決、衆院解散

郵政民営化法案は参院本会議で採決され17票差の大差で否決された。小泉首相は衆院解散を決めた。(8日)

### ディスカバリー、無事帰還

米航空宇宙局(NASA)のスペースシャトル・ディスカバリーは約2週間の飛行を終えて、カリフォルニア州のエドワーズ空軍基地に着陸した。03年2月のスペースシャトル・コロンビア空中分解事故から約2年半ぶりに再開された飛行だったが、打ち上げ直後から機体の損傷が多数見つかり、安全に帰還できるか心配されていた。(9日)

### 不登校数3年連続で減少

病気などをのぞく心の理由で学校を1年間に30日以上欠席する「不登校」の小中学生の総数は3年連続で減少。文部科学省の2005年度学校基本調査＝「ニュースのことば」＝(速報)でわかる。不登校の中学生は全体の2.73%にあたる10万7人で、37人に1人が学校を休んでいる計算になる。(10日)

### 日航機墜落事故から20年

乗客乗員520人が命を失った日航ジャンボ機墜落事故から、丸20年を迎えた。遺族らは11日に墜落現場の群馬県上野村「御巣鷹の尾根」のふもとの神流川に灯ろうを流して、亡き人をしのいだ。翌日には早朝から現場の尾根に慰霊登山した。(12日)

### 月旅行110億円、JTBが販売

JTBは、米宇宙旅行会社スペースアドベンチャーズ(SA)社と提携し、宇宙旅行商品を日本で独占的に販売すると発表した。ロシアの宇宙船で月を回る「月世界旅行(8～21日間)」は、1人1億ドル(約110億円)かかる。10月から売り出し、打ち上げは早ければ08年になる。月面から100～200キロの距離まで近づき、月の裏側を回って地球に帰ってくる。(18日)

### 教員採用権、全市町村に拡大

文部科学省は、来年度から構造改革特区だけに認められていた市町村による教職員の独自採用を、全国に広げることを決めた。次の通常国会に「市町村立学校職員給与負担法」の改正案を提出する予定。すでに学校が独自に学級編成できるように改める方針を固めているが、今回の独自採用と併用すれば、より柔軟な学級編成が可能になる。(22日)

### 外務省、歴史教科書の中韓語訳をHPに掲載

外務省は日本の中学校の歴史教科書を中国語と韓国語に翻訳し、ホームページ(HP)で公開した。来春から使われる8種類の教科書が対象で、近現代史のうち近隣諸国に関する記述を民間会社に委託して翻訳した。中韓両国に教科書の内容を正しく伝えるのが狙い。(24日)

### つくばエクスプレス開業

茨城・つくばと東京・秋葉原の間58.3キロを、最速45分でつなぐ「つくばエクスプレス」(TX)が開業、運行を始めた。東京、千葉、埼玉、茨城4都県などが出資した第三セクター「首都圏新都市鉄道」が運営。1994年に着工し、建設には約8400億円が投じられた。(24日)